

本学の最新予定とトピックス

文京学院大学では、教員陣の研究成果や、「本郷キャンパス」・「ふじみ野キャンパス」で行われるイベント予定、最新トピックスなど、報道関係者向けにさまざまな情報を発信しています。

			実施場所
1	文京区の活動に賛同、ドイツの難民の若者支援を目的に募金活動を実施	2016年 12月26日(月)	文京区役所(東京都)
2	「環境」をテーマに講演会&ワークショップを開催	2月4日(土)	本学ふじみ野キャンパス
3	4つのボランティアプログラムを展開	2月4日(土)～ 2月18日(土)	本学ふじみ野キャンパス、他
4	「なんだべ村自然楽校『いのちはつながっている』第2回」に本学教員が登壇	2月25日(土)	なんだべ村(福島県郡山市)
5	ASIAGRAPHが海外からの招待を受け出展	2月28日(火)～ 3月4日(土)	インドネシア

ドイツの難民の若者支援を目的に募金活動

2016年12月26日(月)

文京学院大学は、文京区が姉妹都市提携を締結するドイツ連邦共和国カイザースラウテルン市の難民の若者支援活動に賛同し、寄附を募り、2016年12月26日(月)、集まった募金を文京区役所に持参し、成澤廣修区長に直接手渡しました。

2016年、ドイツでは多くの難民を受け入れ、カイザースラウテルン市でも約1,500人を受け入れています。その中には、親族等の同伴者のない12歳から17歳の若者がおおよそ200人います。このような若者が逃避生活の後に休養し、徐々に新しい故郷に慣れ、ゆっくりと馴染んでもらうための空間として、専用施設「ガラップミューレ」があります。

文京区では、その施設に滞在する若者の支援を目的に寄附を募集しており、それに賛同した本学のグローバルボランティア部(顧問 外国語学部 甲斐田万智子教授)の学生らが中心となり、募金活動を行いました。活動は、12月16日(金)から21日(水)の平日6日間にわたり、本学の正門前等で行われ、総計32,977円が集まりました。



代表学生から成澤区長に
手渡される募金

「環境」をテーマに講演会&ワークショップを開催

2月4日(土)

2017年2月4日(土)、本学・ふじみ野キャンパスにおいて、『環境』でつながる地域をめざして」と題した講演会&ワークショップを埼玉県ふじみ野市の近隣の方々を対象に開催します。

開催する講演会&ワークショップは、14時から17時まで二部構成で行われ、前半の講演会では「子どもと自然が地域をつなげていく」と題し、NPO法人 花の森子ども園代表 葎田あき子氏が講演を行います。同氏は、子どもたちが自然や動物と触れ合いながら伸び伸びと過ごせる「花の森子ども園」を埼玉県秩父郡皆野町に開園し、そこでの取り組みが地域を巻き込んでいく様子を講演します。後半のワークショップは、本学の人間学部 中山智晴教授が担当し、参加者の知識や経験を持ち寄り、ゆったりと「環境」で繋がる地域について考えていきます。

日時: 2017年2月4日(土) 14時00分~17時00分
 会場: ふじみ野キャンパス ミューズ (埼玉県ふじみ野市亀久保 1196)
 内容: 第一部(14時00分~15時15分)
 <講演会> NPO法人 花の森子ども園代表 葎田あき子氏
 第二部(15時30分~17時00分)
 <ワークショップ> 本学人間学部 中山智晴教授
 定員: 70名



『環境』でつながる地域をめざして」のパフレット

4つのボランティアプログラムを展開

2月4日(土) ~
2月18日(土)

ボランティアを必要とする人、したい人をつなぐことを目指す文京学院大学地域連携センター BICS は、今年開所 12 年目を迎えます。

BICS では、学生が地域の社会資源を活用し、11 のサークルに分かれてボランティア活動を行っています。2 月は以下のプログラムを展開します。

《小学生対象ボランティアスクール「レッツゴー！まるびいの森」》

【子ども大学ふじみ野 あそび学部】
 日時: 2月4日(土) 10時00分~16時00分
 場所: ふじみ野キャンパス(埼玉県ふじみ野市亀久保 1196)
 参加者: 学生 38 名、対象者 60 名

《多文化児童学習・スポーツ支援サークル「BCC」》

【「NPO法人 街のひろば」のスポーツ支援】
 開催①日時: 2月4日(土) 13時00分~18時00分
 開催②日時: 2月18日(土) 13時00分~18時00分
 場所: ふじみ野キャンパス(埼玉県ふじみ野市亀久保 1196)
 参加者: 学生 20 名、対象者 17 名

《障がい者・児スポーツ支援「すっぽん隊」》

【ハイキング支援(知的障害団体 ミルキーウエイ)】
 日時: 2月12日(日) 8時00分~16時00分
 場所: 越生梅林(埼玉県入間郡越生町堂山)
 参加者: 学生 5 名、対象者 16 名、保護者 8 名

《発達・知的障がい児支援サークル「ピーターパン」》

【レクリエーション支援(障がい児余暇支援活動グループ)】
 日時: 2月18日(土) 10時00分~15時00分
 場所: ふじみ野キャンパス(埼玉県ふじみ野市亀久保 1196)
 参加者: 学生 40 名、対象者 10 名、保護者 10 名

「なんだべ村自然楽校『いのちはつながっている』第2回」 に本学教員が登壇 2月25日(土)

2017年2月25日(土)、福島県郡山市逢瀬町のなんだべ村にて開催される「なんだべ村自然楽校『いのちはつながっている』第2回」で、本学の森下英美子先生が講師をつとめ、本学環境教育研究センター所属の学生5名が指導補助を行います。

同イベントは、『ホテル』と『里地里山』の保全再生に参加し自然との共生社会について学んでみよう!」をテーマに全5回で行われます。今回は、自然とそこに生きている生き物とのつながりや生息環境を調べて生き物マップを作成し、里地里山の保全再生を考え、地域の自然環境や生物多様性について学びます。

日 時: 2017年2月25日(土) 9時30分~12時30分
場 所: 福島県郡山市逢瀬町多田野字南山田原1-2 (なんだべ村)
実施団体: なんだべ村
運営支援: 特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク



「なんだべ村自然楽校『いのちはつながっている』」パンフレット

ASIAGRAPH が海外からの招待を受け出展

2月28日(火)
~3月4日(土)

文京学院大学の経営学部 喜多見康教授が主宰し、本学コンテンツ多言語知財化センター内に事務局を置く ASIAGRAPH CG アートギャラリーは、2017年2月28日(火)から3月4日(土)までの5日間、インドネシア共和国のインドネシア芸術研究所(Institut Seni Budaya Indonesia)が主催する「アジア美術文化協会シンポジウム2017」に出展します。

ASIAGRAPH は、世界の第一線で活躍するCG分野のアジアの研究者とクリエイターが集い、先端技術の発表や作品の展示を行う、学術・芸術・展示が一体となった総合イベントです。今回、シンポジウムの主催者から招待を受け出展に至りました。期間中は喜多見教授の講演の他、「日本-インドネシア国際友好展 -ネオ・アジア-ネオ・ジャポン 2017 -日本のグラフィックの軌跡と現代アートの未来-」と題し、ASIAGRAPH のCGクリエイター8名をはじめ、現代アーティスト6名、デザイナー・クリエイター10名、本学学生1名が作品展示を予定しています。

日程: 2017年2月28日(火)から3月4日(土)
会場: Gallery 212 FSRD ISBI BANDUNG
住所: Jl. Buah Batu No212 Bandung 10265



日本人クリエイター
shichigoro-shingo 氏の
イラストが採用されたポスター